

第1回ランチタイムFD 参加者アンケート結果

全学教育センター

I. 回答者の属性

回答者は、参加者 32 名のうち、26 名であった。

回答者の属性は、

職種：専任教員 22 名，非常勤教員 1 名，職員・その他 3 名

所属学部等：社会福祉学部 9 名，経済学部 3 名，健康科学部 0 名，

子ども発達学部 5 名，国際福祉開発学部 2 名，福祉経営学部 3 名，

全学教育センター 2 名，職員・その他 2 名，無回答 0 名

II. ランチタイムFDのプログラムについて

全会全体の評価を 8 項目でたずねた。その結果を以下に示す。

1. 今回のランチタイムFDは、全体的に満足 of いくものだった

	人数	割合(%)
4. そう思う	16	61.5%
3. どちらかというそう思う	9	34.6%
2. どちらかというそう思わない	1	3.8%
1. そう思わない	0	0.0%
0. 分からない(該当外)	0	0.0%
無回答	0	0.0%
	26	

2. 今回のランチタイムFDの目的は分かりやすく説明されていた

	人数	割合(%)
4. そう思う	16	61.5%
3. どちらかというそう思う	7	26.9%
2. どちらかというそう思わない	0	0.0%
1. そう思わない	0	0.0%
0. 分からない(該当外)	1	3.8%
無回答	2	7.7%
	26	

3. 内容は、ちょうどよいレベルに設定されていた

	人数	割合(%)
4. そう思う	16	61.5%
3. どちらかというそう思う	7	26.9%
2. どちらかというそう思わない	1	3.8%
1. そう思わない	0	0.0%
0. 分からない(該当外)	2	7.7%
無回答	0	0.0%
	26	

4. 内容は、わかりやすい順序で進められた

	人数	割合(%)
4. そう思う	20	76.9%
3. どちらかというと思う	4	15.4%
2. どちらかというと思わない	2	7.7%
1. そう思わない	0	0.0%
0. 分からない(該当外)	0	0.0%
無回答	0	0.0%
	26	

5. 配布資料はわかりやすいものだった

	人数	割合(%)
4. そう思う	17	65.4%
3. どちらかというと思う	7	26.9%
2. どちらかというと思わない	2	7.7%
1. そう思わない	0	0.0%
0. 分からない(該当外)	0	0.0%
無回答	0	0.0%
	26	

6. 話題提供者の説明はわかりやすいものだった

	人数	割合(%)
4. そう思う	21	80.8%
3. どちらかというと思う	4	15.4%
2. どちらかというと思わない	1	3.8%
1. そう思わない	0	0.0%
0. 分からない(該当外)	0	0.0%
	26	

7. このランチタイム FD を通して、自分に有益な情報や知識を得ることができた

	人数	割合(%)
4. そう思う	11	42.3%
3. どちらかというと思う	12	46.2%
2. どちらかというと思わない	3	11.5%
1. そう思わない	0	0.0%
0. 分からない(該当外)	0	0.0%
無回答	0	0.0%
	26	

8. 今回の内容は、今後の自身の取り組み(指導・支援など)をするうえで役に立ちそうだ

	人数	割合(%)
4. そう思う	11	42.3%
3. どちらかというと思う	12	46.2%
2. どちらかというと思わない	3	11.5%
1. そう思わない	0	0.0%
0. 分からない(該当外)	0	0.0%
無回答	0	0.0%
	26	

Ⅲ. その他、ご感想、ご要望などがあればご自由にお書きください。

- 学生の基礎学力＝語（文系）＋論（理系）とお話にお話に納得しました。「構造が重要」「パラグラフライティングを」「要約練習」「読書・添削」等、お話が具体的で納得できました。
- 興味深いテーマだったと思います。お疲れさまでした。
- もう少し長い時間をかけてやった方が良いのではと思います。（ランチタイムにこだわらず）一方的にお話を聞かせていただくだけでなく教職員同士がふりかえりやディスカッションをする時間を多くとってはと思います。
- まだ、咀嚼ができていないので、私が理解できてスタートかな。
- とても説得力のあるお話でした。ゼミなどの指導で参考にさせていただきそうな手法等がたくさんありました。
- ないものねだりな事はわかっていますが、もう少し時間がとれると議論が深まる様に思います。
- 他の授業との関連で、どのように文章力を高めていくのか、問われていると思われる。私の場合、レポート作成の連載講座を授業の中で位置づけて取り組んでいる。（第10～15回）レポート作成の仕方を丁寧に教えていくことが実践的に重要であると考えている。その中で、素敵なレポートが生み出されることを実感している。ありがとうございました。
- 院生の論文指導に役立つ知識やヒントを得ることができました。